

第21期（2006年3月期）
決算説明会

2006年4月28日

サイバネットシステム株式会社

代表取締役社長 井上 恵久

取締役 田中 邦明

CYBERNET

目 次

- 会社概要
- グループ会社紹介
- **【連結】** 第21期（2006年3月期）決算概況
 - 業績の概況
 - セグメント情報
- **【個別】** 第21期（2006年3月期）決算概況
 - 業績の概況
 - セグメント情報
- トピックス
- 2006年度通期業績予想

会社概要

- 名 称 : サイバネットシステム株式会社（東証第一部 4312）
Cybernet Systems Co., Ltd.
- 本 社 : 東京都文京区大塚2-15-6
- 支 社 : 西日本支社（大阪）、中部支社（名古屋）
- 設 立 : 1985年4月17日
- 資 本 金 : 995百万円
- 社 員 数 : 295名（2006年4月1日現在）
- 事業内容 : C A Eソリューション、ネットワークソリューションの提供
各種コンサルティングの提供

C A Eとは

Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータによる工学支援のことをいい、コンピュータ上で仮想設計し、仮想実験すること。

グループ会社紹介

(1) 株式会社ケイ・ジー・ティー (2005年4月経営参画)

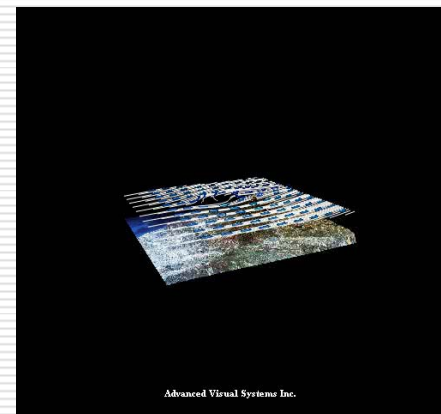
事業内容：可視化ソフトウェアの開発・販売
ネットワーク関連ソフトウェアの販売・サポート

所在地：東京都新宿区

設立：1994年11月

資本金：1億円 (当社所有比率 100%)

社員数：61名



(2) 株式会社プラメディア (2005年8月経営参画)

事業内容：樹脂流動解析、成形解析ソフトウェアの開発・販売、受託研究
高分子材料の物性、成形性に関わる研究開発、ソフト開発

所在地：東京都中野区

設立：1988年12月

資本金：45百万円 (当社所有比率 95%)

社員数：13名

地形を考慮した気象
データアニメーション

(3) 西希安工程模擬軟件(上海)有限公司 (2004年12月設立)

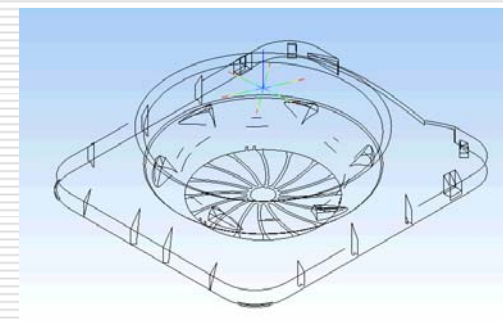
事業内容：CAEに関するコンサルティング、受託解析

所在地：中華人民共和国上海市

設立：2004年12月

資本金：250,000USドル (当社所有比率 66%)

社員数：11名



射出成形解析
(ファンカバー成形時のメルトフロント
の成長過程)

第21期（2006年3月期）決算概況【連結】

【連結】

第21期（2006年3月期）業績の概況

単位：百万円

	当期実績	売上比	修正公表値	計画差異	前年実績	前年比
売上高	17,399	100.0%	17,300	99 (100.6%)	13,968	124.6%
売上総利益	6,371	36.6%	6,200	171 (102.8%)	5,842	109.0%
営業利益	2,301	13.2%	2,100	201 (109.6%)	2,473	93.1%
経常利益	2,548	14.6%	2,300	248 (110.8%)	2,616	97.4%
当期純利益	1,503	8.6%	1,300	203 (115.6%)	1,511	99.5%
1株当たり当期純利益	4,593.41円				4,509.34円	
株主資本比率	66.1%				67.9%	
1株当たり株主資本	28,665.87円				26,309.45円	

修正公表値は、2006年1月31日に業績修正を公表したものです。

前年実績は当社個別を参考表示しており、1株当たりの指標は分割後に遡及修正しております。

当社は、当期より連結決算を実施しております。

連結の範囲に関する事項

- (1) 連結子会社名 株式会社ケイ・ジー・ティー
株式会社プラメディア（下期のみ連結対象）
- (2) 非連結子会社名 西希安工程模擬軟件(上海)有限公司

損益計算書の概要

単位：百万円

	実績	売上比	内 訳
売上高	17,399	100.0%	
売上原価	11,027	63.4%	商品原価9,449、技術サービス原価1,290、製品製造原価288
売上総利益	6,371	36.6%	
販売費及び一般管理費	4,069	23.4%	人件費1,884、減価償却費120、家賃274、広告宣伝費480
営業利益	2,301	13.2%	
営業外収益	249	1.4%	為替差益160、運用利息40、助成金30
営業外費用	3	0.0%	
経常利益	2,548	14.6%	
特別利益	—	—	
特別損失	50	0.3%	epiplex独占販売権償却:39
税引前当期純利益	2,497	14.3%	
法人税等	994	5.7%	
少数株主利益	△ 0	0.0%	
当期純利益	1,503	8.6%	

ソリューション別損益の概況

単位:百万円

	CAEソリューション			ネットワークソリューション			連結	
	金額	構成比	売上比	金額	構成比	売上比	売上高	売上比
売上高	14,383	82.7%	100.0%	3,020	17.3%	100.0%	17,399	100.0%
営業費用	10,897	—	75.8%	2,858	—	94.6%	15,097	86.8%
営業利益	3,485	—	24.2%	162	—	5.4%	2,301	13.2%

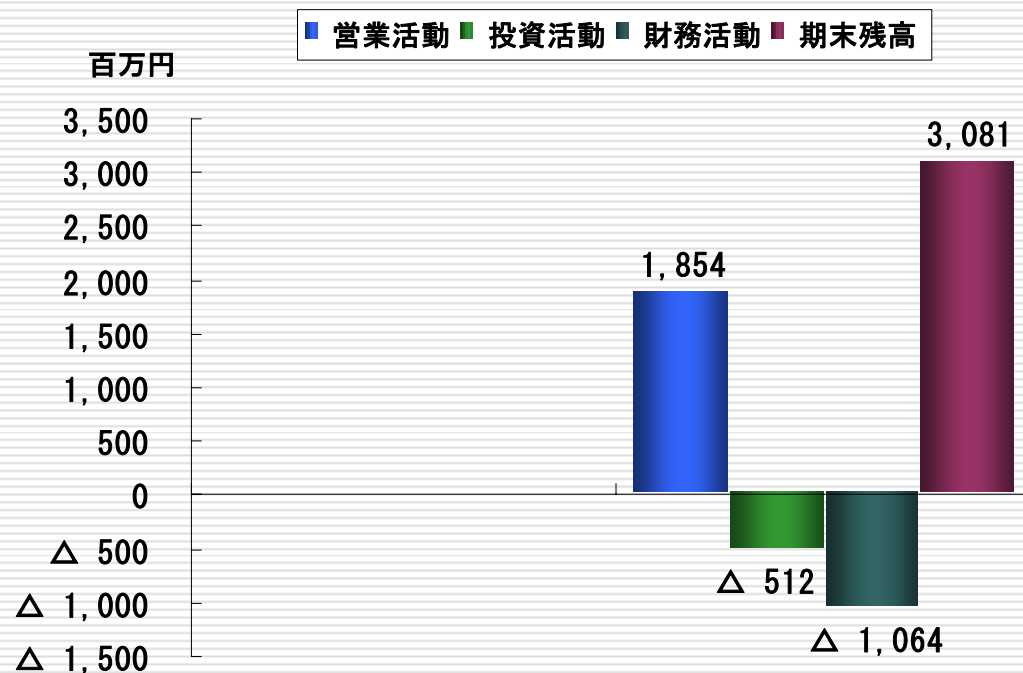
(1) CAEソリューション

- ① 自動車・電機・精密機器業界等の安定した需要に支えられ、制御系、機械系、光学系、エレクトロニクス系の各ソフトウェアの販売は堅調に推移したものの、想定した売上高には至りませんでした。
- ② サービスビジネスの拡大を図るべく受託解析部門の強化、各種応用セミナーの実施によりサービス収入を伸ばすことができました。

(2) ネットワークソリューション

- ① セキュリティ対策ソフトウェア販売は堅調に推移しましたが、ビジネスプロセスマネージメント(BPM)ソフトウェアは、開発元の方針転換により、新機能のリリースが中断され、想定した売上高には至りませんでした。

キャッシュ・フロー計算書



営業活動

税金等調整前当期純利益	2,497
売上債権の減	105
仕入債務の増	257
法人税等の支払	△ 1,142

投資活動

子会社の取得による支出	△ 257※
ソースコード利用権取得等	△ 335
有価証券による収入支出	133

財務活動

借入金返済による支出	△ 418
自己株式取得による支出	△ 277
ストックオプション権利行使による収入	164
配当金の支払	△ 532

※子会社の取得による支出
 新規連結子会社株式取得価額 △445
 新規連結子会社現金及び現金同等物 187

【連結】

四半期別の業績

単位:百万円

	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	金額	売上比	前年比	金額	売上比	前年比	金額	売上比	前年比	金額	売上比	前年比
売上高	4,400	100.0%	—	4,173	100.0%	—	3,234	100.0%	—	5,590	100.0%	—
(構成比)	25.3%	—	—	24.0%	—	—	18.6%	—	—	32.1%	—	—
営業利益	678	15.4%	—	476	11.4%	—	△ 56	△ 1.8%	—	1,203	21.5%	—
経常利益	710	16.1%	—	504	12.1%	—	25	0.8%	—	1,307	23.4%	—

【連結】

連結各社の2006年3月期業績の概況

	単位：百万円							
	売上高	前年比	経常利益	売上比	前年比	当期純利益	売上比	前年比
サイバネット	14,626	104.7%	2,501	17.1%	95.6%	1,463	10.0%	96.9%
ケイ・ジー・ティー	2,795	—	108	3.9%	—	100	3.6%	—
プラメディア	85	—	△ 12	△ 14.8%	—	△ 13	△ 16.0%	—

※ プラメディアは決算期が12月のため、第3四半期（7月－9月）から第4四半期（10月～12月）までの期間を連結しております。

【連単比率】

総資産	1.06
総負債	1.18
資本	1.00
総資本	1.06
売上高	1.19
経常利益	1.02
当期純利益	1.03

第21期（2006年3月期）決算概況【個別】

損益計算書の概要

単位：百万円

	前年実績	売上比	当期実績	売上比	増減	前年比
売上高	13,968	100.0%	14,626	100.0%	657	104.7%
売上総利益	5,842	41.8%	5,727	39.2%	△ 115	98.0%
営業利益	2,473	17.7%	2,275	15.6%	△ 198	92.0%
経常利益	2,616	18.7%	2,501	17.1%	△ 114	95.6%
当期純利益	1,511	10.8%	1,463	10.0%	△ 47	96.9%

販売費及び一般管理費

単位：百万円

	前年実績	当期実績	売上比	増減	前年比	内容
人件費	1,548	1,578	10.8%	29	101.9%	月平均3名増
通信費	141	138	0.9%	△ 2	98.3%	
旅費交通費	160	178	1.2%	18	111.3%	海外出張費11増
備品消耗品費	100	72	0.5%	△ 27	72.5%	(前年度は増床に関わる備品等有り30)
募集採用費	65	67	0.5%	1	102.3%	
教育研修費	32	51	0.4%	19	160.6%	部長層研修、EMOT研修実施による増加
地代家賃	186	236	1.6%	49	126.7%	別館、中部支社増加
減価償却費	163	114	0.8%	△ 49	69.7%	
広告宣伝費	444	448	3.1%	4	101.0%	
業務委託費	227	243	1.7%	16	107.4%	派遣社員の増加
支払手数料	157	148	1.0%	△ 9	94.2%	
その他経費	140	173	1.2%	32	123.4%	調査研究費26 (内WAON開発費21)
合計	3,368	3,452	23.6%	83	102.5%	

利益分析（前年比）

売上総利益増減要因

- (1) 売上高の増加
- (2) 為替変動・原価率差異
- (3) 技術サービス原価増加

325百万円
 △ 269百万円
 △ 170百万円

為替変動
 前年比+4.35円
 当期 112.22円
 前期 107.87円

販管費の増加要因

- (1) 人件費
- (2) 教育研修費
- (3) 家賃
- (4) 業務委託費
- (5) 調査研究費

29百万円
 19百万円
 49百万円
 16百万円
 26百万円

社員28名増加(延べ平均)

社員3名増加(延べ平均)
 創立20周年記念費用

昨年9月本社増床
 中部支社増床

主な営業外損益

- (1) 受取利息等
- (2) 為替差益

41百万円
 160百万円

資本政策関連費用
 サーバルーム移設

主な特別損益

- (1) 固定資産除却損
 内、epiplex独占販売権償却

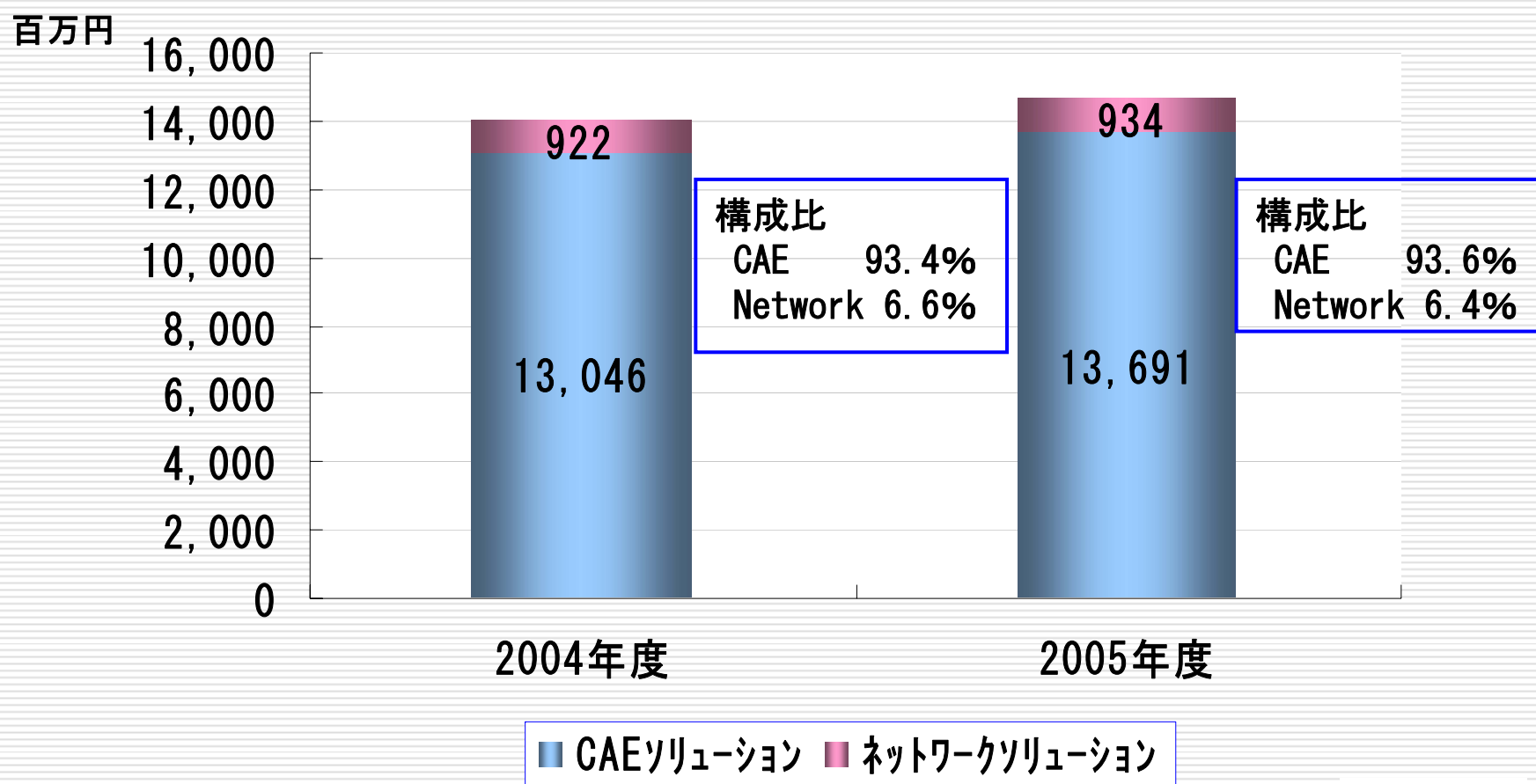
45百万円
 39百万円

産学共同開発費
 (WAON等)

外貨調達:107.749円

ソリューション別売上高

前年比 CAE 4.9%増
Network 1.2%増



四半期別の業績

2004年度実績

単位：百万円

	第1四半期		第2四半期		第3半期		第4四半期	
売上高	3,493	(+17.2%)	3,303	(+8.5%)	2,528	(+10.5%)	4,642	(+9.3%)
構成比	25.0%		23.6%		18.1%		33.3%	
営業利益	705	(+38.1%)	541	(+9.5%)	44	(△68.0%)	1,182	(+4.7%)
経常利益	770	(+52.0%)	564	(+14.7%)	60	(△60.3%)	1,220	(+7.9%)

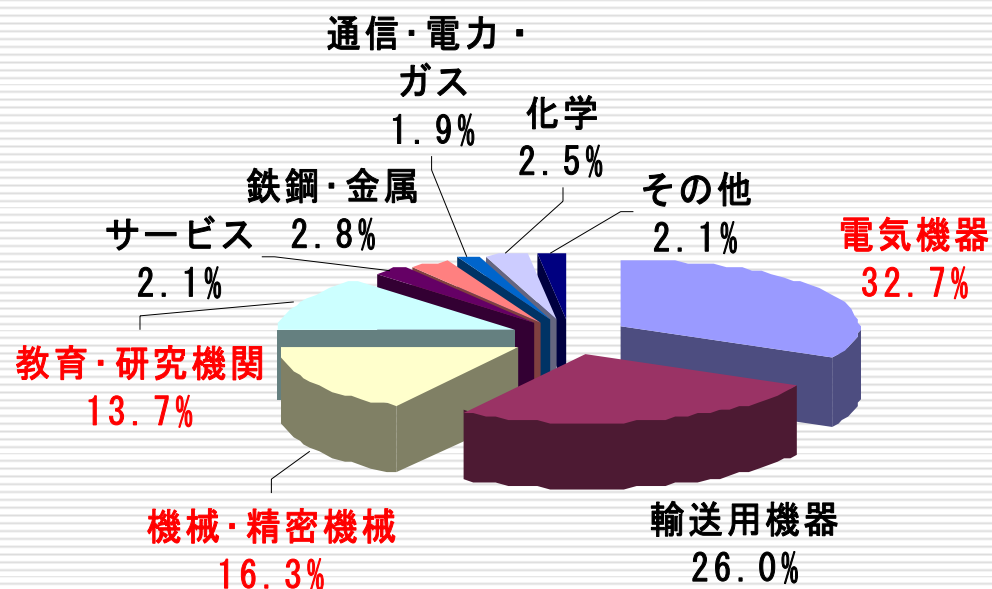
2005年度実績

単位：百万円

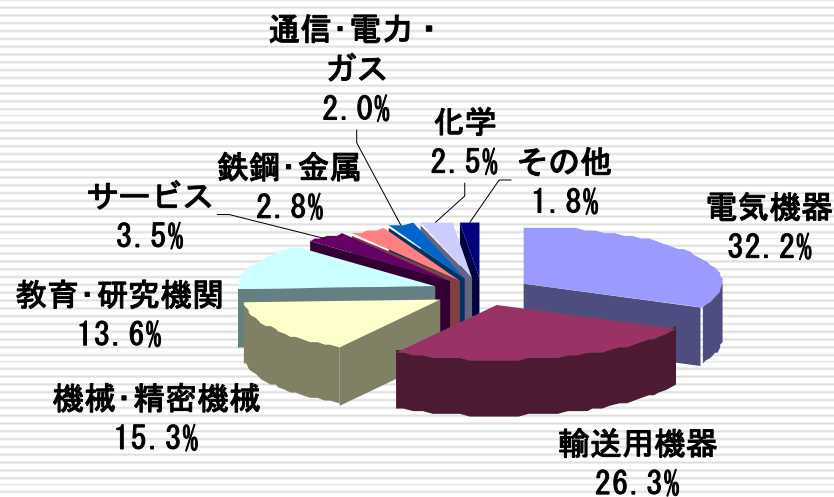
	第1四半期		第2四半期		第3半期		第4四半期	
売上高	3,834	(+9.7%)	3,457	(+4.7%)	2,613	(+3.3%)	4,721	(+1.7%)
構成比	26.2%		23.6%		17.9%		32.3%	
営業利益	715	(+1.4%)	456	(△15.6%)	△23	(△152.2%)	1,125	(△4.8%)
経常利益	750	(△2.6%)	463	(△17.8%)	53	(△11.9%)	1,233	(+1.1%)

業種別売上高シェア

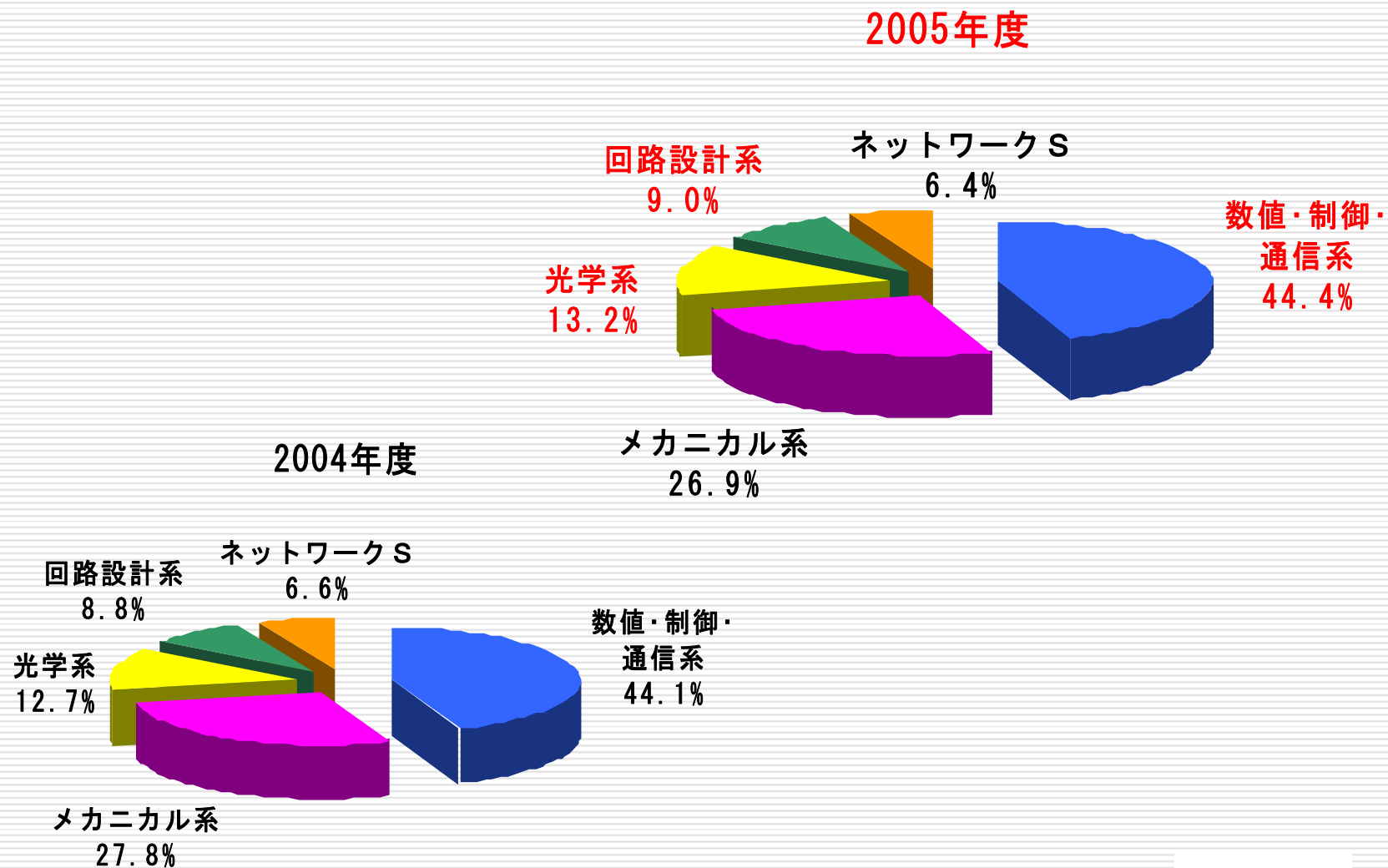
2005年度



2004年度

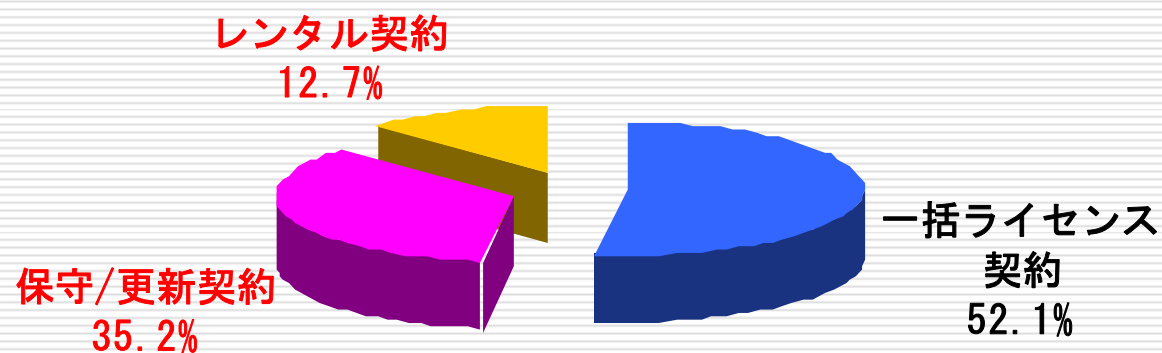


応用分野別売上高シェア

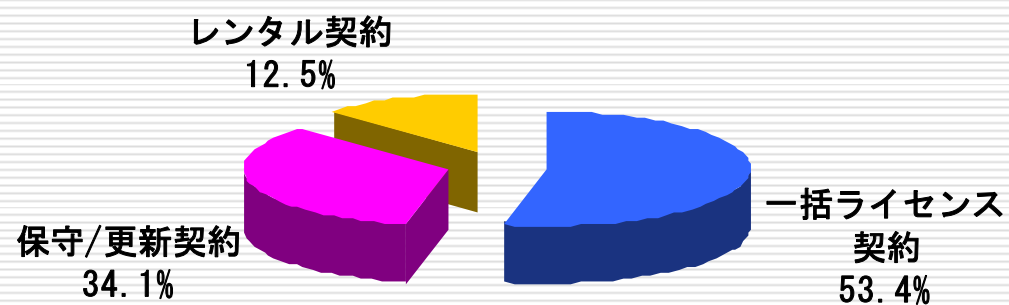


ライセンス契約別売上高シェア

2005年度

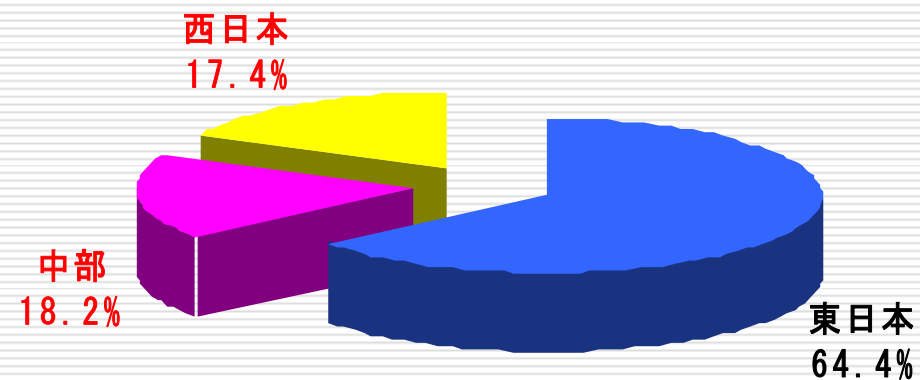


2004年度

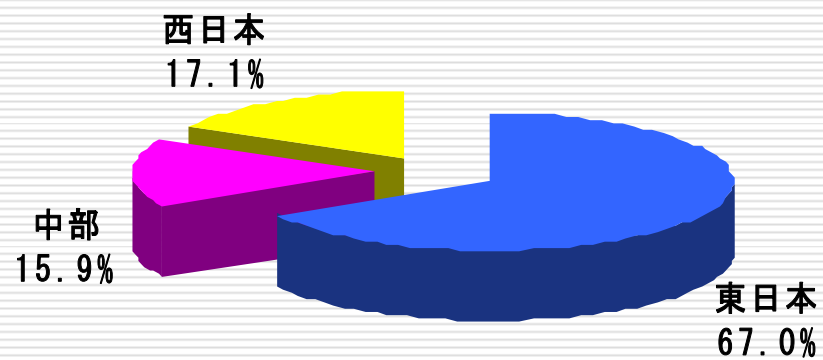


地域別売上高シェア

2005年度



2004年度



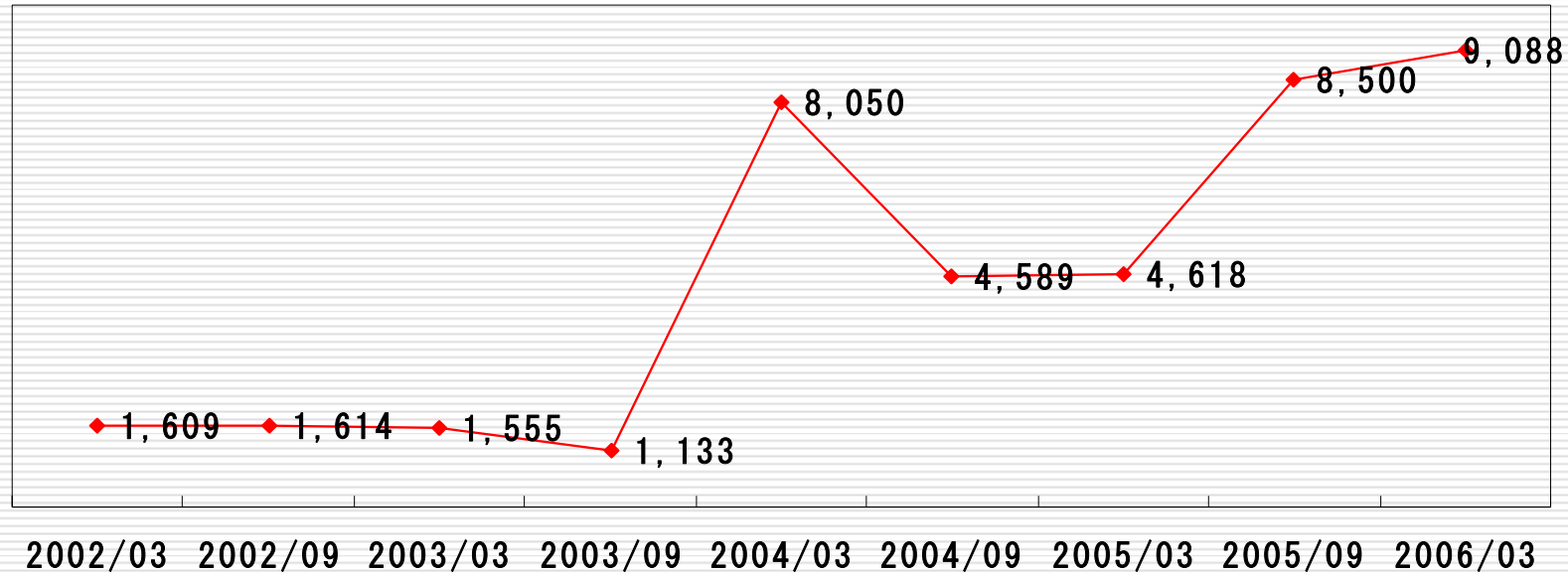
トピックス

- 4月1日 (株)ケー・ジー・ティーを子会社化
- 4月26日 子会社(株)ケイ・ジー・ティーの株主割当増資の引受を発表
払込期日：5月10日
- 8月23日 (株)プラメディアを子会社化
- 11月22日 日本IR協議会の「IR優良企業奨励賞」受賞
- 1月23日 初の自社開発ソフトウェア超大規模音響解析プログラム
「WAON」の国内販売開始
- 1月31日 業務改善支援ツール「epiplex」のソースコード
利用権取得
- 2月15日 ノートパソコン盗難による顧客情報漏洩事故発生
- 3月28日 (株)ケイ・ジー・ティーが自社開発ソフトウェア
「内部統制ソリューション C i - T o w e r」の販売開始

資本政策

- 4月21日 株式分割（無償交付）1：3を発表
効力発生日：7月20日
- 8月1日 自己株式取得発表
取得期間：8月3日～8月10日
取得株数：2,000株

株主数の推移（人）



配当政策

□ 2006年3月期(第21期)の期末配当金(案)

普通配当 1株当たり 750円

年間配当金 1株当たり 1,450円

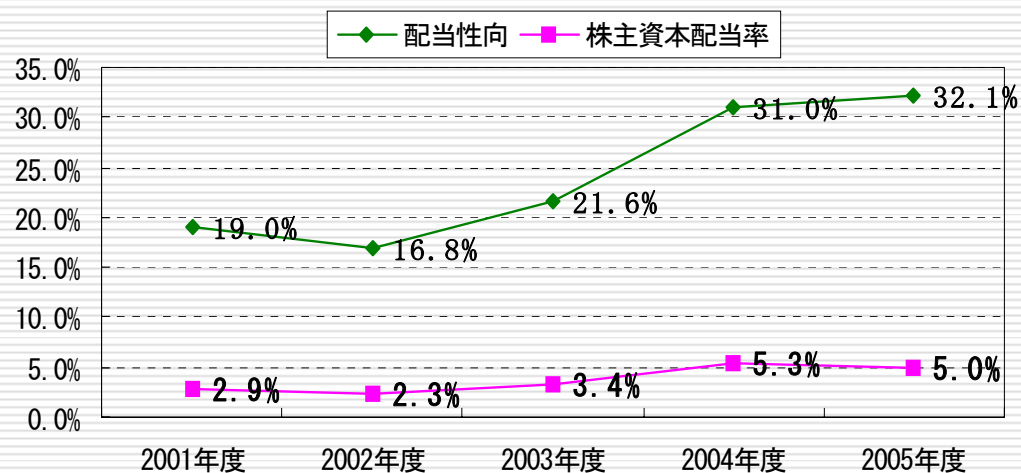
(1) 前年度より50円増配

(2) 期末配当金及び年間配当金は、当初予想を変更しておりません。

(3) 年間配当金の配当性向 32.1%

(4) 年間配当金の株主資本配当率 5.0%

配当推移



経営新体制

5月1日付

新役職名	氏名	備考
代表取締役社長	井上 惠久	
代表取締役副社長	田中 邦明	
専務取締役	三平 久悦	
常務取締役	高橋 宏	
取締役	今村 達	
常勤監査役	野村 吉晴	
監査役	河野 松彦	
監査役	立田 三彦	社外監査役
監査役	長嶋 龍平	社外監査役

経営新体制

6月23日付予定

新役職名	氏名	備考
会長	井上 惠久	
代表取締役社長	田中 邦明	
専務取締役	三平 久悦	
常務取締役	高橋 宏	
取締役	今村 達	
取締役	溝口 陽一（新任候補）	
取締役	重光 貴明（新任候補）	
常勤監査役	野村 吉晴	
監査役	河野 松彦	
監査役	立田 三彦	社外監査役
監査役	小木曾 雅浩（新任候補）	社外監査役



サイバネット システム 株式会社

新コーポレートロゴ



- 何処からでもわかるシンプルなロゴ。25年にわたるCAE事業におけるリーディングカンパニーの存在感を出す。
- カラーは「情熱」を表すエネルギーレッド。

新コーポレートスローガン

つくる情熱を、支える情熱。

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

2007年3月期通期業績予想

2007年3月期通期業績予想

【連結】

単位：百万円

	2005年度実績	売上比	2006年度予想	売上比	増減	前年比
売上高	17,399	100.0%	20,200	100.0%	2,800	116.1%
経常利益	2,548	14.6%	2,700	13.4%	151	106.0%
当期純利益	1,503	8.6%	1,565	7.7%	61	104.1%

※ 上記に記載した連結予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。そのため、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2007年3月期通期業績予想

【個別】

単位：百万円

	2005年度実績	売上比	2006年度予想	売上比	増減	前年比
売上高	14,626	100.0%	16,800	100.0%	2,173	114.9%
経常利益	2,501	17.1%	2,670	15.9%	168	106.7%
当期純利益	1,463	10.0%	1,535	9.1%	71	104.9%

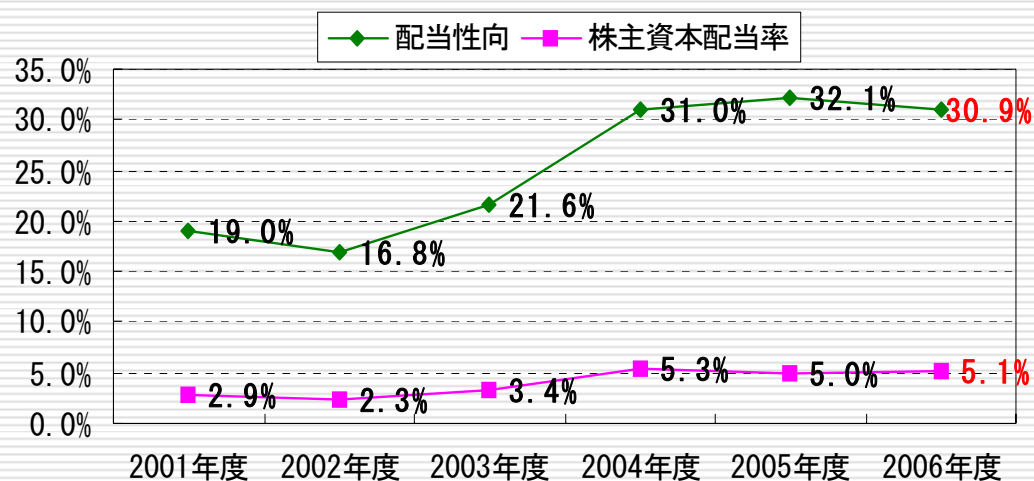
※ 上記に記載した個別予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。そのため、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

配当金の予想

単位：円

	2005年度	2006年度予想		
	年間配当額	中間配当額	期末配当額	年間配当額
1株当たり配当額	1,450	700	800	1,500
1株当たり当期純利益	4,510.85	—	—	4,853.44
配当性向	32.1%	—	—	30.9%
株主資本配当率	5.0%	—	—	5.1%

配当推移



2006年度の取組み

□ メンテナンスビジネスの向上

- ・メンテナンス更新率 5% 向上 (70% ⇒ 75%)

□ 自社製品の販売促進

- | | |
|-------------------|----------|
| ・音響解析ソフト | WAON |
| ・業務改善／eラーニング支援ツール | epiplex |
| ・プラスチックCAE | プラメディア製品 |
| ・J-SOX法対応内部統制ツール | Ci-Tower |

□ EDA部門のPCB（プリント基板設計）分野の強化

- ・京浜アートワークの営業譲受によりプリント基盤設計、エンジニアリングサービスへ本格参入

2006年度の取組み

- 中国子会社 西希安 (CCAlliance) の黒字化
 - ・本格的にソフトウェア販売開始
- MATLAB周辺ビジネスへの参入
 - ・パートナー企業との連携強化 ExpertControl社など
 - ・MATLABによるプログラム開発、受託解析
- グループアライアンスの推進
- 戦略的M&Aの推進
- ISMS及びEMS第三者認証取得
- 人材確保・人材育成
- 内部統制への取組

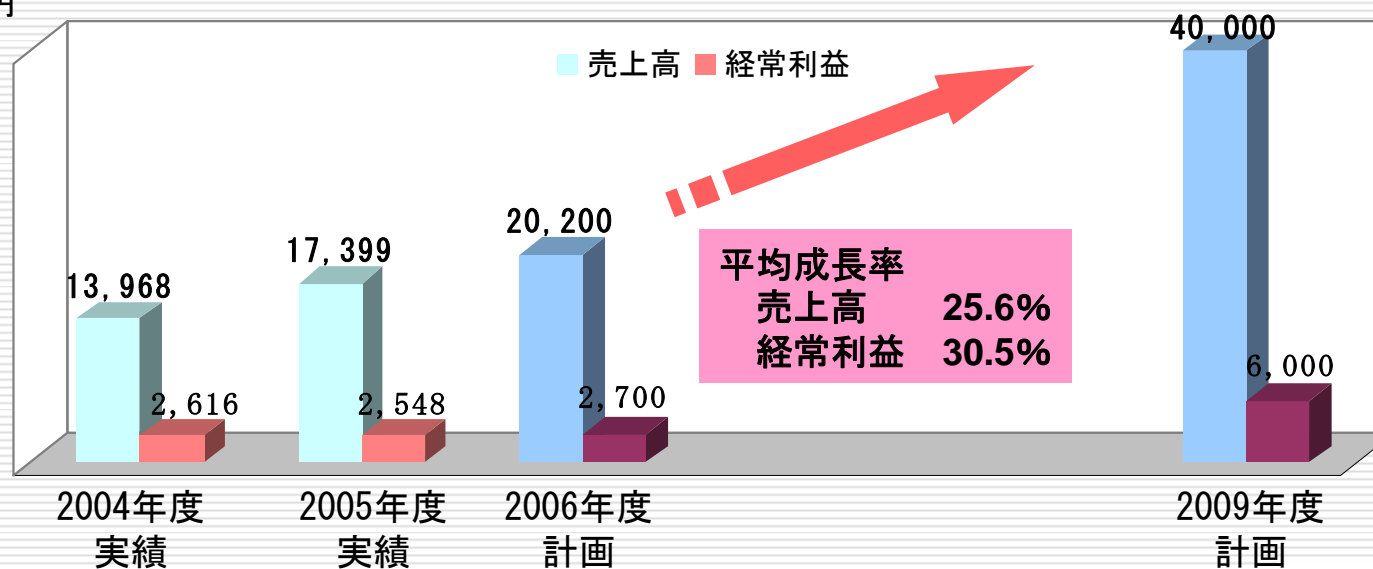
中長期事業計画への取組み状況

中長期事業計画進捗状況

単位：百万円

	2004年度 実績	2005年度 実績	2006年度 計画	2009年度 目標
売上高	13,968	17,399	20,200	40,000
前年比	—	124.6%	116.0%	
経常利益	2,616	2,548	2,700	6,000
売上比	18.7%	14.6%	13.4%	15.0%

単位：百万円



成長戦略 2005年度－2009年度

1. 既存事業の拡大とソリューション領域の拡大

- 応用分野の開拓
 - ・ 東京工業大学とのスマート建造物の共同研究など産学共同への取組み
- 新規ソリューション領域の強化
 - ・ ナノテク分野における燃料電池、メモリー、ハードディスクへの応用など
- サービス分野の拡大
 - ・ 京浜アートワークの営業譲受によるPCB分野へのエンジニアリング展開
 - ・ 07年度CAEユニバーシティ開設に向けてのプロジェクト発足
- CAE事業とシナジー効果のあるネットワークソリューション領域の拡大
 - ・ e p i p l e x のソースコード利用権取得による自社開発

2. 海外事業展開

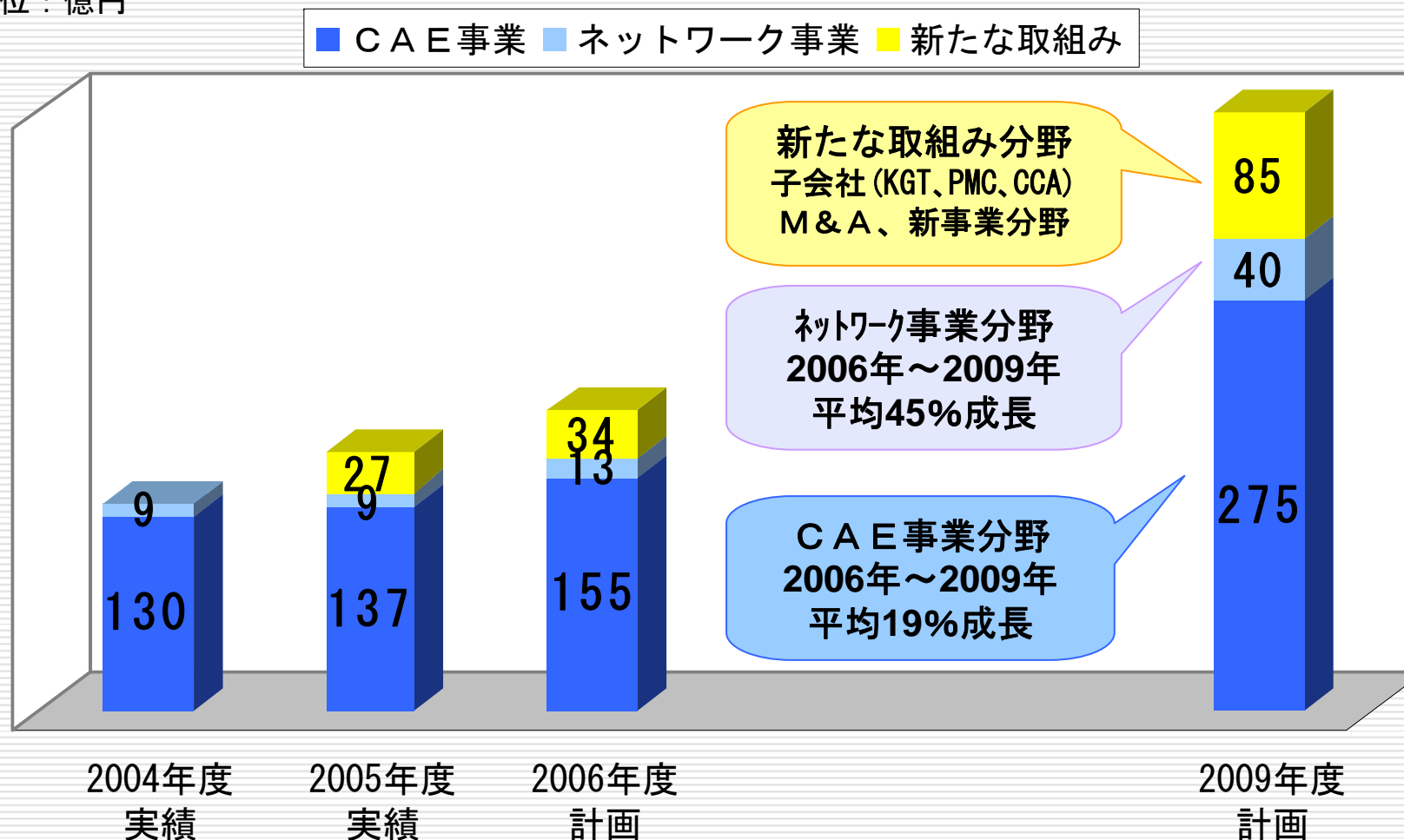
- 中国子会社 Maple、ROBOTなどソフトウェア販売の本格化、11名体制へ
- 自社製品 WAON、Real INTAGE、プラメディア製品などの海外展開の加速

3. 積極的な事業投資

- 既存CAE事業とシナジー効果を生む分野への積極的な投資
- ソリューション領域拡大を目的としたM&A

中長期事業計画進捗状況

単位：億円



ご清聴ありがとうございました。
今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

■ 広報室

住所 〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6 ニッセイ音羽ビル
電話 03-5978-5404
FAX 03-5978-5441
Eメール irquery@cybernet.co.jp
ホームページ <http://www.cybernet.co.jp>

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したのですが、その安全性を保証するものではありません。また、資料に記載された意見や予測は、資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら補償するものではありません。

記載された内容が予告なしに変更することもありますのでご注意ください。

投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願い致します。